

令和6年度
(28期生)

入校案内

建築大工訓練校



見学者歓迎 / 7月～8月 毎週水曜日

見学は申し込みをしてからご来校下さい。

濃飛建設職業能力開発校



校長 榎間博幸

本校がめざす訓練教育は、「常に意欲とおもいやりの心で」を校訓として、人に対するマナーとかけがえのない地球に対するマナーをしっかりと身につけることである。

そして、現代社会をとり巻いている偏差値教育にはっきりと決別することです。これは、優れて多様な価値観を評価する日本社会に求められる大切な視点です。すなわち、訓練生と経験豊富な指導員・講師との会話の中からプロになるために自発的に鍛錬するよう仕向けています。

本校が目指すのは、施主様の夢を叶える家造りは木造建築が自然資源を活用した健康住宅として優れた技術があり、従来の軸組工法は「匠の技」によって受け継がれ、その技術は幅広く、奥深い、極めれば限りないほどの工法があります。その第一人者としての大工さんを「匠」の卵として育成することです。

あなたも地球環境に優しい家造りの専門大工「匠」を目指して、仲間と共に頑張ってみませんか。



理事長
藤井保明

今、居住環境が、自然・健康・安全を重点に見つめ直されています。人生の大半を過ごす住宅では木に対する建築が見直され、安全で健康に優れた住宅づくりが要求され、伝統の従来工法が新しい型で展開されています。

私たちは、古来からの「匠の技」を駆使しながら、新しい形での住宅建築産業に貢献しております。伝統の家造りは、この「匠の技」無くしては成り立ちません。

本校は、開校以来 27 年目を迎え、151 名の匠の卵を建設業界に送り出し、その多くが棟梁として活躍し、伝統の「匠の技」を駆使して、本格的木造住宅建築に励んでおります。

老齡化等で益々減少していく日本伝統の本格木造住宅の担い手「匠」を育成し、高度な技術を伝承する人材を育てることが、当訓練校の使命です。

本校において、その人材となり「匠の技」を学びたい君たちの入校を待っております。

入校資格

- 高等学校卒業程度の学力を有すると認められる者
- 本協会加盟建築事業所へ雇用されている場合、給料を得ながら学べます。
(協会に加盟していない事業所は、加盟する必要があります。)

学習科目

建築施工系 木造建築科 (2年課程)

学 科	系基礎学科	専攻学科
実 技	系基礎実技	専攻実技

集合訓練

毎週水曜日だけ訓練校で訓練を受ける。
(年間/約50日)

分散訓練

雇用事業所において、毎週1日指導資格のある者に実技訓練を受ける。
(年間/約40日以上)

指 導

誇れる、15名の指導員・講師の先生が親切に教えます。

技能照査

規定により、岐阜県知事より技能照査合格証書と技能士補の称号が与えられます。

修了証書

規定により、岐阜県知事より訓練を修了した証が交付されます。

資格取得に利点

- 技能士の資格取得に有利
- 2級建築士の受験に有利
- 職業訓練指導員の資格取得に有利
- 作業主任者免許の取得に有利

建築CADの短期訓練

パソコンソフトによる住宅建築設計の技術が習得できます。

技能検定事前講習会

1~2級技能士(建築大工)の検定の講習会を実施しています。(5日間)
(本校訓練生以外の方でも可)

倉庫の建て方 / 実習訓練



実習風景



令和2年度技能五輪全国大会(愛知県国際展示場)
本校訓練生(2年生)出場

実践技術が
習得できる!

建築技能者を目指す諸君よ 来たれ!! 働きながら実力が身につく

本校の課程を経て 訓練終了生(第25期生)感想文



正戸 歩
株式会社 新和建設

まず初めに、この濃飛建設職業能力開発校に2年間も通う機会を与えていただいた会長、親方、新和建設の皆様にご挨拶申し上げます。そして丁寧に色々な知識、技術を教えて下さった指導員の先生方 本当にありがとうございました。

私がこの2年間で特に印象に残っているのは、自分達で刻んで造った倉庫です。現在私達の現場ではほとんどの建材がプレカット加工されており、材料を刻むという事がありません。この小屋造りでは1から墨付けを行い自分達で刻むという貴重な経験をする事ができました。その際墨の間違いがなく、加工がしっかりできているかを何度も確認しながら作業をした事が強く印象に残っています。前述したように、私達の現場ではノミや鉋を使う機会は余りありませんが、今現在お世話になっているリフォームの現場ではノミや鉋を使うことが沢山あり、大工学校で学んだことを生かす事ができています。既存の敷居にフロアを舐り合わせたり、柱を刻んで立てたり、鉋で材料を仕上げたりなどでノミや鉋がいつも使えるようになっていなくては仕事できません。刃物の研ぎだけでなく木材に関する知識や加工技術に関して大工学校で学ぶ事ができて本当に良かったです。

これから先、大工として仕事をしていく中でわからないことや困難にぶつかることが沢山あると思いますが、ここで学んだ知識や技術を生かして今の自分に満足せずに向上心をもって仕事に取り組み、一人前の大工になれる様に精進していきます。

最後になりますが、2年間とても有意義な時間を与えていただいた学校関係者の皆様にご挨拶申し上げます。本当にありがとうございました。



土居 歩 夢
株式会社 新和建設

まず初めにこの濃飛建設職業能力開発校に通う機会を与えていただいた藤井会長、親方、会社の皆様、そして指導して下さいました先生方に感謝申し上げます。

私は高校を卒業して大工の世界に入ったので様々な面で不安が多くありました。しかし週に一度の学校で同期や先生と話していると不安が少なくなったのを感じています。

私がこの2年間で特に印象に残っているのは1年生の時の倉庫造りです。普段やることのない墨付けから加工まで自分達でやり切って建方をし、形になった時は今まで感じたことのない達成感を味わう事ができました。その他にも2年生の時に行った視察研修では三重方面へ行き、同期の5人と2日間色々な所をまわって知識を身に付け、様々な楽しい思い出を作ることができました。

今までの2年間で学んだ多くのことを忘れることなくこれから生きていきます。

最後になりますが、2年間とても楽しい有意義な時間と機会を与えて下さった学校関係者の皆様にご挨拶申し上げます。本当にありがとうございました。



倉林 唯人
株式会社 新和建設

まず初めに2年間この濃飛建設職業能力開発校に通う機会を与えて頂いた藤井会長、親方、会社の皆様、そして指導して下さいました先生方に感謝申し上げます。高校を卒業してすぐに大工という職人の世界に入ったので技術や知識の面で不安がありました。しかし週一度通う大工学校がその不安を和らげてくれました。私にとってこの大工学校で過ごす時間はとても貴重でした。

この2年間で印象に残った事は多くありますが特に印象に残ったことは1年生の時に建てた倉庫です。現在私達の現場ではほとんどの建材がプレカット加工されたもので建っていますがこの倉庫は自分達で1から墨付けをして加工しました。この加工を通してノミや鉋、ノコギリなどの大工道具の使い方を学びました。この加工の中で1つの部材を間違えると、その部材に関わるすべての部材を手直ししないとイケなくなるので1つ1つの作業を正確に確認しないとイケないということを身に染みて感じました。

もう1つ印象に残っていることは、仲間たちと日々楽しみながら学べたことです。5人という高校の時と比べたら少ない人数でしたが、自分一人ではわからないことや理解できなかった事もお互いに聞きあったり、実習では話し合っ共同で作業することで、一人では出来なかったこともやり遂げることが出来たと思っています。この大工学校で出会った同期と週一回2年間、一緒に切磋琢磨できたことを感謝しています。

この2年間で、現場では学べない多くの大工の技術・知識・知恵そして楽しさを学びました。この事を忘れずに一人前の大工になれるように日々努力していきます。

最後になりますが、2年間有意義な時間を与えていただいた学校関係者の皆様 本当にありがとうございました。



土井 淳平
株式会社 三和木

まず初めに、この濃飛建設職業能力開発校に通う機会を与えていただいた株式会社三和木の関係者の方々に感謝申し上げます。

私は、高校を卒業して三和木に入社させて頂き、大工としての知識や技術の面で不安が多くありました。また、私には会社での大工の同期が一人もいなかった事もあり、仕事のことで相談できる相手がいませんでした。しかし、週に一度通う学校がその不安を和らげてくれました。そして、丁寧に分かりやすく指導して下さいました。仕事の悩みを聞いて下さった指導員の先生方には本当に感謝しております。

私はこの2年間大工学校に通わせていただき多くの思い出を作ることができました。全ての部材を一から墨付けをし、一つ一つ加工をして作り上げた倉庫はとても印象に残っています。今はプレカットが主流で手刻みをする事は減ってしまいましたが、学校でノミや鉋を使い、見たこともない様な仕口や継ぎ手を作らせてもらいとても良い勉強になりました。

この2年間で特に印象に残っていることがあります。それは、学校の仲間達と日々楽しみながら学べたことです。作業で行き詰まった時には、お互い助け合いながら作業をしました。2級技能検定の課題や、卒業検定の課題では切磋琢磨しながら課題に取り組むことができました。この2年間を通して、現場では学べない体験やここでしか学べない知識を得ることが出来ました。

最後になりますが、2年間とても有意義な時間を与えて下さった学校関係者の皆様にご挨拶申し上げます。本当にありがとうございました。



富山 直哉
丸七ホーム株式会社

まず初めに、この濃飛建設職業能力開発校に通う機会を与えて頂いた丸七ホームの関係者の方々に感謝申し上げます。そして、丁寧に分かりやすく指導して下さいました指導員の先生方、本当にありがとうございました。

私は大学を卒業し、大工という職人の道を選びました。建築関係の大学ではなかったため不安になる面がたくさんある中でスタートしました。忙しい日々の中で、一つでも多くのことを覚えることで必死でした。この学校では現場では余りやらないような事も習うので、そのことも私には難しい事でした。

色々勉強した中で、倉庫造りや隅木の加工がとても印象に残っています。小屋造りでは一つ一つ墨付けし、加工しなければならぬのでとても勉強になりました。隅木の加工ではとても頭を使い、墨付けから加工するまでとても苦労しましたが、良い勉強になりました。この加工を通してノミや鉋などのたくさんの道具の使い方や刃物の研ぎ方を学ぶことができました。ノミや鉋を使う機会は少ないですが、今後役に立つのでこの経験を行かしていきたいと思えます。

この学校で学んだ技術・技能・知識・知恵などを忘れず大切に、これからの仕事に励んでいきたいです。2年間とても有意義な時間を与えて下さって本当にありがとうございました。

制服

本校より訓練校の制服が支給されます。
訓練校にて必要な工具類は、事業所から支給されます。

訓練生派遣事業に要する費用

■事業主負担

区 分	金 額	備 考
訓練事業分担金	300,000円	訓練生1人/年間
入 校 料	5,000円	入校時のみ
授 業 料	4,000円	月額
傷 害 保 険 料	15,400円	2年間 (希望による)

(注) その他の必要費用

- ① 会費(会員でない場合は別に定める会費相当額)
- ② 訓練生の雇用事業所等が所在する市町村において、本校の運営費に対する助成制度が設けられていない場合は、その額(特別負担金)

下記の事業者へ入社する必要があります

■本協会加盟事業所一覧 (令和5年度)

(順不同)

今井製材所 下佐見	(株)田口建築 金山	(有)マルツ建築 黒川
(有)今井製材所 五加	出合製材所 坂ノ東	丸八住宅(株) 黒川
(株)今井木材 河東	長瀬産業(株) 神土	丸七ホーム(株) 河岐
(株)カネシン 上佐見	(有)新田建設 神土	丸美建設工業(株) 切井
(株)カネダイ 切井	(株)ひろせ建築 瑞穂市	(有)マルヨ 越原
(有)カネヒサ建築 神土	(有)フジイ建築 黒川	(株)ミノワ 黒川
纈纈建築 福地	(有)フジイホーム 黒川	(株)三和木 切井
(有)サトシ建築 黒川	(株)古田材木店 五加	好安江建築 上佐見
(株)シンク 神土	(有)丸キ建築 黒川	安江工務店 神土
(株)新和建設 黒川	マル共ホームズ(株) 赤河	(有)山三 黒川
鈴村建築(株) 三川	(株)丸信住宅産業 中麻生	大和産業(株) 切井
田口営繕 神土	(株)丸長ホーム 三川	(有)ヤマミツ藤井建築 黒川

●入校又は当協会へ加盟を希望される方は、当協会又は上記の企業へお問い合わせください。

職業訓練法人

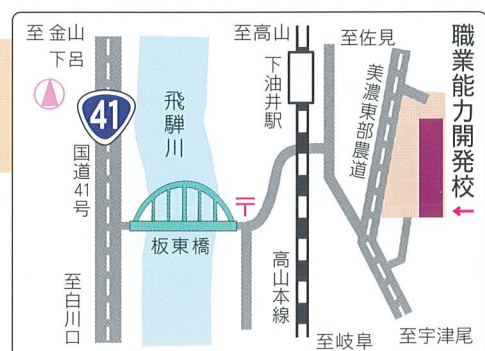
濃飛建設事業者職業訓練協会

〒509-1101 岐阜県加茂郡白川町白山1479番地

TEL 0574-79-0010 FAX 0574-79-0009

URL <https://www.daiku-kunrenko.com/>

E-mail nohikunrenko@me.ccnw.ne.jp



実践技術が早く身につく
建築技能者を目指す諸君よ 来たれ!!

働きながら実力が身につく

濃飛建設職業能力開発校

令和6年度 訓練生募集

場所 岐阜県加茂郡白川町白山1479番地
(JR高山線下油井駅下車 徒歩5分)

学習科目 建築施工系 木造建築科(2年課程)
基礎学科・専攻学科のほか実技やコンピューターCADによる製図技法の学習など

集合学習 毎週水曜日(年間/約50日)

入校資格

- 高等学校卒業程度の学力を有すると認められる者
- 本協会加盟事業所へ雇用されていること

※当協会加盟事業所に就職し、給料を得ながら技能を習得します。
※入校を希望の方は、当協会へお問い合わせください。

《資格取得等》

- 技能士補の資格を取得
- 技能士の資格取得に有利
- 2級建築士の受験に有利
- 職業訓練指導員の資格取得に有利
- 作業主任者免許の取得に有利



木造建築技能後継者を 求められておられる… 事業主の皆様へ

現在 36名の協会員により順調に運営しております。本協会も26年を経過。151名の卒業生(2年間の教育課程を修了)を送り出すことができ、在校生9名が訓練に励んでおります。

本校へ訓練生を派遣するためには、当協会に加盟していただく必要があります。どうかこの機会に、貴社の将来を展望し、当協会へ加盟されますようお願い申し上げます。



当協会の会員として加盟されますと

- 若年従業員を訓練生として本校へ派遣する事が出来ます。(下記のとおり応分の分担金が必要)
- 加盟事業主が従業員を採用される場合の求人のお手伝いをします。
- 技能後継者育成に関する情報や資料を提供いたします。
- 建築 CAD や建築技能士・フォークリフト等の短期養成講座に参加できます。

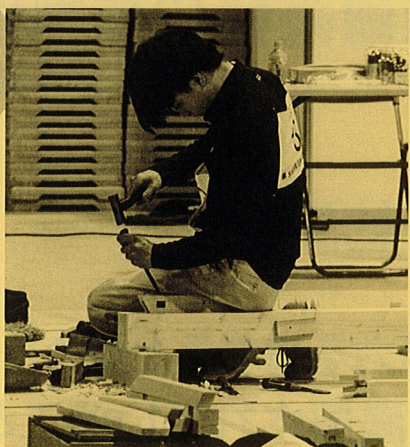
訓練生派遣事業主に要する費用

区 分	金 額	備 考
訓練事業分担金	300,000円	訓練生1人年間
入 校 料	5,000円	入校時のみ
授 業 料	4,000円	月 額
傷 害 保 険 料	15,400円	2年間(希望による)

令和2年度技能五輪全国大会

本校訓練生(2年生)出場

(愛知県国際展示場)



※キャリア形成促進助成金… 訓練生が雇用保険の被保険者である場合には、その者の給料月額により、給付金が支給されます。

見学者歓迎 7月～8月 毎週水曜日

見学は申し込みをしてからご来校下さい。

- 入校又は当協会へ加盟を希望される方は、当協会へお問い合わせください。

職業訓練法人

濃飛建設事業者職業訓練協会

〒509-1101 岐阜県加茂郡白川町白山1479番地

TEL 0574-79-0010 FAX 0574-79-0009

URL <https://www.daiku-kunrenko.com/>

E-mail nohikunrenko@me.ccnw.ne.jp

